

平成27年度 布佐中学校 学校評価 教職員による自己評価集計

H28.2.1

1. 各評価の視点について実践を振り返り、評価欄の数字に○をつけてください。
 4:十分重点として認識し、達成に向けた努力をしている 3:重点目標として認識し、実践している
 2:重点としての意識は低く、個別的な努力をした。 1:ほとんど認識がなかった。
2. 各項目の「自己評価・提案」の欄には領域に対する自己評価、学校改善(2.3学期)に向けた提案を書いてください。

※ 自己の取り組みに対する反省、評価でなく、1学期における布佐中学校の教育活動全体をみてそれぞれの項目について自分としてどう評価するのか、という観点から記入してください。

平成27年度学校教育目標

『自ら学び、共によりよく生きる生徒の育成』 「自主性」「共生」

平成27年度の重点

- 1 主体的によりよい生活・学習のあり方を求め、思考し、的確に判断しながら行動(表現)できる生徒を育てる。
- 2 互いの価値観を認め、仲間と学び合い支え合いながら、(自分ではない)誰かのために貢献できる生徒を育てる。
- 3 家庭・地域と連携し、三者一体となって生徒を育てるとともに、(地域が同一である)小学校との一貫教育を推進していく。

今年度学校経営方針「子どもの自主性と共生的な態度を引き出す教育課程の創造」

【5つの柱】

- 1 言語活動の充実・授業での実践、特別活動での実践。
- 2 教職員の協働……目的・目標を全職員で共通理解し、同じベクトルに進む。
- 3 共生的な態度……互いの価値を認め、支え合い、助け合う態度。
- 4 小中一貫……一貫カリキュラムの整備による学力向上、中一ギャップの解消等。
- 5 人材育成……教職員の指導スキルとキャリアアップを図る。

【3つの重点活動】

- 1 自ら課題を見つけ、解決にむけて思考し表現する力やコミュニケーション能力を培うカリキュラムの作成。
- 2 学校内外で他者に関わる活動、人や地域に貢献する活動を進める。
- 3 チーム布佐として協同・協働できる組織。

めざす生徒像

- ① よりよい生活・学習のあり方を求め、主体的に考え、的確に判断しながら行動(表現)できる生徒。
- ② 互いの価値観を認め、仲間と学び合い、支え合いながら、(自分ではない)誰かのために貢献できる生徒。
- ③ 地域を愛し、地域と協働しながら、よりよい社会の形成に向けて参画できる生徒。

めざす学校像

- ① 学校を核として、保護者・地域と連携しながら、みんなで創る地域の学校。
- ② 先生も生徒も通うことが楽しく、日々を充実した気持ちで過ごせる学校。
- ③ 地域コミュニティの中核としての役割を果たせる学校。

○今年度の重点について

重点	(教職員による自己評価) 評価の観点	評価 上段=評価 下段=人数				2学 期末	1学 期末
		4	3	2	1		
1	主体的によりよい生活・学習のあり方を求め、思考し、的確に判断しながら行動(表現)できる生徒を育てる。	4	3	2	1	91%	90%
		5	15	2	0		

※1学期末における現状や2学期に向けての改善策・伸長策

・	転入職員に授業改善の発想や方法を紹介し、共に試みを進める機会を提供し得なかった。計画では2学期以降。
・	考えて自分たちで計画をさせるように各学年で工夫すべき。
・	体育は、カードを中心にもっと思考する力を伸ばしたい。
・	2、3年の数学TT、成果があったと思っています。2学期もしっかり取り組みたいと思っています。太陽も少しずつ落ち着いてきました。M君の集中力を高めるのが2学期の課題です。
・	主に授業では、昨年度より生徒がどんな学習をするとよいかを考えてできるようにしている。しかし表現(主に発表)という面ではもっと工夫をしていきたいと考えている。
・	もっとファシリテーターに徹する。
・	1学期は、地域や生徒の実態把握、本校の方針をつかむ努力をしましたが、まだまだこれからです。本校の実態に応じた指導を模索していきます。
・	社会科の中で、資料の読み取り、活用等を取り入れている。今後も教科指導に力を入れたい。

※2学期を終えて

・	学校生活のどのステージで行動力、表現力を育成するか。それは授業です。行事や学活とともに全教科の学習をさらに主体化する必要を共有しましょう。
・	3年生の公民はあまりグループ活動や調べ学習を取り入れられませんでした。3学期は意識してしかけたいです。
・	班活動の充実により、生徒は主体的に動いている。しかし課題は、生徒が動いているが、その動きを一部の職員しか知らないことにある。
・	自分で体育の課題を考え、どんなことを注意し、次取り組むかを考えられるよう学習カードを活用した。
・	的確に判断という点がない生徒がいた。主体的という点では学年間に差がある。
・	授業においてもっと学び合いの時間(活動)を取り入れたかった。
・	もっと自分の言葉でまとめをする。そしてそれを評価する授業をしたかった。
・	もっと生徒が主体・自主的に動けるようこちらが先回りして行動していく必要がある。
・	生徒が自身で考えて判断する機会の充実。
・	家庭学習の充実を教員、家庭ともに目指していかなければいけないと思う。
・	特に実習では、グループ内で教え合い、学び合いができています。継続して活動的な授業を行いたいです。

2	互いの価値観を認め、仲間と学び合い、支え合いながら(自分ではない)誰かのために貢献できる生徒を育てる。	4	3	2	1	2学期末	1学期末
		6	14	2	0	91%	100%
※1学期末における現状や2学期に向けての改善策・伸長策							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人との関わり、生活の中での協力など、場面に応じて声をかけていく。 ・ 学年を統一して、エンカウンターなどを実施し、価値観を共有できたら良いと思います。 ・ 3年間班活動を続けた結果、やっと学び合いとして機能をしている。話すことの大切さをもっと広げていきたい。 ・ 2学期は、マット運動の領域があるので学び合いを活発にさせたい。 ・ 太陽学級、2年3人の人間関係はまだ指導の途中です。堀先生とともに2学期頑張りたいと思います。M君の感謝の気持ちを育てることも引き続いて指導していきたいと思います。 ・ 個性豊かな生徒が多い中、お互いの良いところを認め合い、学び合いながら生活できるようになった生徒も増えた。 ・ 互いの考え方を認め仲間を大切にすることは学級目標であり、事あるたびに生徒たちに話してきた。指導する機会が増えたが、まだまだ足りていないと感じる。 ・ もっと有意義な内容の道徳の授業を考える。 ・ 人との関わり、生活の中での協力など、場面に応じて声をかけていく。 							
※2学期を終えて							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一刻も早く机をグループ隊形(班又はコの字など)に変えましょう。何よりの改善策であり、生徒たちはここから伸長を自ら目指すようになります。グループ学習の場面だけでなく、グループ隊形で生活することから始まります。 ・ 3年生は話し合い、学びあうことが普通にできており、「教えて」「いいよ」ができます。継続は力なりです。 ・ クラスの他教科の先生の話によると、学び合いが他のクラスよりできるという話を聞きました。クラスで問題が起きたときに周りが助け合える雰囲気はある。 ・ 授業内における学び合い活動の機会を増やし、生徒同士が教え合い、学び合うことができる場を設ける。 ・ グループ活動やジグソー法を用いて、様々な意見を引き出し、受け入れることができるような場面を多く作って行こうと思います。 							

3	家庭・地域と連携し、三者一体となって生徒を育てるとともに(地域が同一である)小学校との一貫教育を推進していく。	4	3	2	1	2学期末	1学期末
		6	12	4	0	82%	65%

※1学期末における現状や2学期に向けての改善策・伸長策

- ・ 小学校の学習を生かしながら、社会科の指導進めています。内容が難しくなるけれど、面白さも伝えながら、中学校で学びを深められるように今後がんばります。
- ・ 意識が低いので、今後進路指導等を通じて、家庭とのつながりを担任の先生と共に作っていく。
- ・ 小中一貫を具体化するための形がまだ見えていない気がします。
- ・ 地域との連携はまだ薄いので、もっと自分から地域と繋がれるようにしたい。
- ・ 数学や家庭科など、地域の力を上手に活用している。
- ・ こまめに家庭と連絡を取り、一体となって生徒を指導するように話していたが、時に連絡不足で不信感を与えてしまった時があった。

※2学期を終えて

- ・ 一貫教育のコンセプト。5年後の3校の姿が等、一般職員には全く浸透しておらず推進のためには布佐中チームとしての共有が求められます。
- ・ 学習、図書ボランティアと連携を取って生徒や学校環境のことを考え、行動した。
- ・ 保護者会で多人数の保護者が来てくださり、いろいろな情報交換ができた。地域との連携に、私個人が関わったわけではないので、地域との連携を個人的に取り組みたい。
- ・ まだ一貫教育という点では歩み出していない。
- ・ 家庭への連絡だが、こまめに行っているつもりであるが、まだまだ足りないと思う。実際、保護者から月の予定か連絡事項について聞かれることがあった。
- ・ 家庭学習の充実。授業における小学校教育の活用。
- ・ 会議等で決定したことや検討事項を共通認識されず、一部の人のみが知っていることが多かった。
- ・ 実習では地域ボランティアの方々のご協力を得て、良い授業を行うことができました。3学期も引き続き、目標達成に向けて努力します。

手だて	領域	NO	(教職員による自己評価) 評価の観点	評価 上段=評価 下段=人数				2学期 達成率	1学期 達成率
				4	3	2	1		
				4	3	2	1		
言語活動の充実・共生的な態度・職員の協働・小中をつなぐ・人を生かし・人を育てる(職員・生徒)	校内研究の推進と授業改善	1	1時間の授業の形態、活動方法の工夫(話し合い活動や討議、発表)をおこなっている。	4	17	1	0	95%	94.7%
		2	目標にそった授業改善に向け、授業方法や内容の工夫をしている。	3	17	1	0	95%	100.0%
		3	1時間の授業の中で、「深める」活動(思考をする)を取り入れている。	8	13	1	0	95%	89.5%
		4	1時間の授業成立のため、単元計画全体の工夫を図っている。	3	16	4	0	83%	78.9%
		5	同一教科による学年間をつないだ言語活動の充実に向けた取り組みを行っている。	3	17	3	0	87%	61.1%
		6	読書・読書活動の充実のための取り組みを推進をしている。	5	5	10	3	43%	57.9%
※1学期末における現状や2学期に向けての改善策・伸長策									
		5	総合学習では、教育課程上 学年間をつなぐカリキュラムができてきているものの、各教科では3か年の系統の中に組み込む言語活動の検討が甘いと思われます。						
		6	Basic読書の学年間共通手法を得たい。						
		1	社会科でなかなか話し合い活動の確保と評価方法に迷いがあります。それぞれの単元で時間はその時間を設けるように心がけています。						
		6	図書室の利用も含めた学習をまだ行ってないので歴史などの調べ学習で活用していきたいと思います。						
		3	学習問題は示しているが、まとめを自分の言葉で書く時間をとっていないので、とっていききたい。						
		5	言語活動が重要ですが、本校生徒の漢字力の低さが心配です。ベーシックで、漢字能力を養う問題を実施したり、小中一貫で同じような漢字テストの形式で行うことが肝要かもしれません。						
			研修はとてもありがたい。また、多くの授業や他教科を見ることが自分の考えを広げればとなっている。						
		1	話し合い、発表をもっと授業に取り入れるように2学期はもう少し新しい領域に入る前にプランを練る。						
		3	学習カードを使っているので、毎回もう少し充実した振り返りができるようにしたい。						
		4	1時間の授業の中で深める活動を取り入れるのが難しい場合もあり、短いスパンと長いスパンで思考する場面を作っていきたい。						
		4	基礎学力の低さからか、話し合い時間を設けても深まらないことが多い。粘り強く続けていくしかないと考えている。						
		2	私は「太陽」の授業と数学のTTなので他の先生方と条件は違いますが、たとえ「太陽」の国語でもいろいろ工夫は可能だと感じています。最初は漢字中心でしたが、読解も十分可能だとわかり、毎回いろいろ試してみています。4人の学力差が相当あるので、難しい面もありますが、個別指導中心に頑張りしたいと思います。						
		6	複数の学校図書を購入していただいたので2学期も積極的に活用、紹介したい。						
		5	教科部会が少なすぎる。時間がない。						
		6	basicに読書活動を積極的に取り入れると良いと思う。						
			今年度の取り組みである読書の充実に関しては、年度始めは最初の単元でやってみようと考えていたが、やれずに終わってしまった。また別の単元で考えていきたい。						
		5	他教科(3年生)との関連ができていません。情報交換を行っています。						

※2学期を終えて

5	まだまだ。
6	校内研修計画で授業に活用すべき図書→図書館の活用を提起しているが、研修部の怠慢により、目に見える進展に至っていない。図書目録化→データベース化作業とともに私たち授業者の積極性が問われている。
6	図書室の充実が進んでいると思います。子どもたちが読みたい、読ませたい本がたくさん。そして、手に取りやすいディスプレイの工夫等、楽しくなる図書室だと思います。先日、柏日体高校の図書室を見る機会がありました。壁の掲示物や図書配置等工夫されてとても魅力的でした。一度行ってみてください。
6	年度初めに研修部からお話があったことでしたが、本を使えていません。 全学年ベーシックによるB型学力の向上を目指すべき。また、このBasicの時間を含めて、班活動や共に学ぶということを意識付けさせたい。
6	読書を充実する取り組みは最初の単元で計画したものの、ほとんど実行できずに終わってしまった。
4	「深める」活動をもっと取り入れていかなければならない。レベルアップを目指す。
3	学習課題の提示はできているが、終末のまとめや振り返りが不十分なときがある。時間配分に気をつけ、毎時間でのまとめができるようにする。
6	文献や英書を用いて英語で読書をする機会を取り入れていきたい。 これまで朝のベーシックの作成を通して、課題の与え方、考えさせるポイントが今までより深められたと思う。
3	学習課題の提示は必ず行っているが、終末にまとめや振り返りをする時間が十分に取れず、次時に繰り越してしまふことが多い。(45分授業だとなおさら)授業でできなければノートにまとめておくようにさせ、次時に復習としてそれを発表させる等工夫していきたい。
	カリキュラムの時間上、話し合う活動はどうしても毎回入れられないことがある。
	図書に置く本をたくさん購入していただきありがとうございました。授業でも生徒たちに紹介し、興味を示してくれる生徒が多かったです。今後も活用していきたいです。
	学習については相当な取り組みがなされていると思う。しかし、学習成果が上がっていない。特に理科・社会。過去+αで、理科の授業に立ち会うことがあったが、授業への真剣さがかなりかけていた。授業の一つ一つを大事にする。着実に取り組めるようになることが必要。指導する教員によって生徒の態度の違いが大きすぎる。
6	教科で図書質を利用する提案が研修部からあったが、まだやれていないので3学期にやろうと思います。あとは2年の廊下に本を提示してあるので自分から積極的に読み、感想を生徒に伝えたいです。